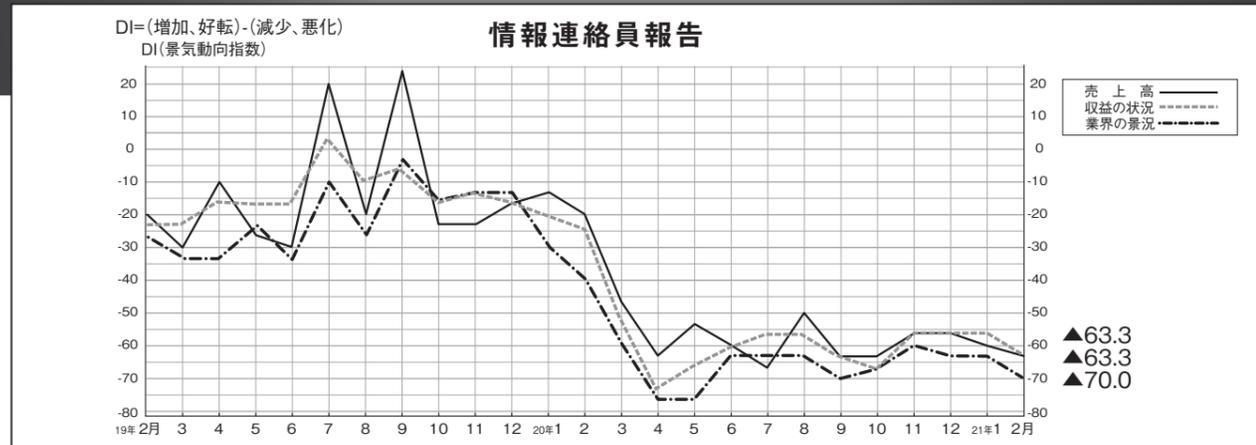


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年2月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不変 | ☁️...やや悪化 | ☔️...悪化

<p><b>食品団地</b></p> <p>☔️</p> <p>2月商況は、新型コロナ対策による緊急事態宣言の延長による影響によって県内外とも市況は低調となった。2月開催の大型商談会は参加せず、サンプル出品のみ等となり商談機会も無くなり、業界環境の悪化を懸念。</p>	<p><b>生コンクリート製造</b></p> <p>☁️</p> <p>出荷量は前年同月比 98.4%で、地域的偏在がある。高知市を中心とする地区の市況は、全国一の低迷状態がなお続いている。新型コロナ対策に予算が割かれ、建設関連予算の削減が予想される。</p>
<p><b>酒類製造</b></p> <p>☔️</p> <p>相変わらず回復の兆しは見られない。3月、4月歓送迎会等での需要期も期待薄か。(宴会、イベント、会合の自粛、観光客の減少による土産品の減少等大幅な売上減となる)</p>	<p><b>コンクリート製品</b></p> <p>☁️</p> <p>出荷数量は、前年同月比84%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返して、令和3年2月分は1月分につき低下した。</p>
<p><b>テントシート</b></p> <p>☔️</p> <p>新型コロナ感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況。現在の状況が続くと思われる。</p>	<p><b>機械団地</b></p> <p>☁️</p> <p>新型コロナ禍による影響が落ち着く中で、団地内業況は業種等により好不調のバラツキがある。資金繰りが好転したとする企業があるものの、現在も受注減、顧客訪問の自粛、会合の中止などの影響はある。</p>
<p><b>木製品素材生産</b></p> <p>☔️</p> <p>2月はスギ・ヒノキ共量は1割程度ダウンであるが、材価については共に横ばい状況。材価・量ともに回復基調にあり、回復していることは考えられるが、今後の製品市況・需給状況が見通せない不安がある。</p>	<p><b>刃物製造</b></p> <p>☁️</p> <p>今月は売り上げも少し上がり、本年度のマイナスを少し補うことができた。しかし、国内(特に小売業)への販売は伸び悩み、海外への輸出に頼る結果となっている。小売業者の販売が今後どうなるか心配である。</p>
<p><b>製材</b></p> <p>☁️</p> <p>原木不足で価格は上昇気味、製品の需要は停滞が続いており、今後大きな変化もなく現状のままと思われる。</p>	<p><b>船舶製造</b></p> <p>☔️</p> <p>生産状況は、引き続き高い水準で推移している。新型コロナの影響で海外活動は停滞。</p>
<p><b>製紙(家庭紙)</b></p> <p>☔️</p> <p>県内家庭紙メーカーは、厳しい状況が続いている。ここに来て主原料であるPULP価格が、120ドルUPと急騰している為、収益面で益々苦しくなる。</p>	<p><b>珊瑚装飾品製造</b></p> <p>☔️</p> <p>2月の取引額は前年同月比63%と、依然厳しい状況が続いている。</p>
<p><b>印刷</b></p> <p>☔️</p> <p>県内官公需、民需共に先月よりは回復傾向。県外需要は首都圏の緊急事態宣言の影響で厳しい状況が継続。多少の回復傾向も見られるが前年対比は割れている。3月以降は不透明。厳しい状況は継続すると思われる。</p>	<p><b>卸団地</b></p> <p>☔️</p> <p>1. 外食、観光については1月同様非常に動きが悪い。 2. 新型コロナと消費税増税の影響と思われるが、景気悪化が進んでいる。</p>

<p><b>青果卸売</b></p> <p>☁️</p> <p>量販店の売上が好調のため、県内外への出荷は増であるが、依然、業務関係は不調のままである為、組合員店舗によって多少の違いはあったが全体としては「113.9%」。ただ、外食・業務関係は全くダメである。</p>	<p><b>商店街(四万十市)</b></p> <p>☔️</p> <p>天神橋ではウェディングドレスのショー関係のイベントを行った。突然のきれいで明るいショーに通りがかった人も笑顔になった。折角のイベントだが大きく呼びかけて人を集められないのが苦しいところだ。</p>
<p><b>生鮮魚介卸売</b></p> <p>☔️</p> <p>マグロ、カツオ、小物等入荷が少なかったが、需要も少なかったので丁度間に合っていた。新型コロナは落ち着いてきているが、注文は少ない。新型コロナが続く限り売り上げは伸びないと思われる。</p>	<p><b>旅館・ホテル</b></p> <p>☔️</p> <p>客足は鈍く落ち込んだままである。新型コロナワクチンの接種が順調に進み、GoToが再開されることを願う。</p>
<p><b>各種小売(土佐市)</b></p> <p>☔️</p> <p>あまり状況に変化はなく、高知県の自粛はあけても人の動きは変わらず、さみしいものとなっている。</p>	<p><b>飲食店</b></p> <p>☔️</p> <p>時短要請があった先月と比べても集客や売り上げに大きな変化はなく、業界全体の売り上げは前年度比6割程度か。集客、売り上げの低下による廃業や閉店を危惧している。</p>
<p><b>ガソリンスタンド</b></p> <p>☔️</p> <p>昨年11月からの仕切り価格の累計上昇幅は15円に達し、市況への転嫁が遅れマージンの低下が続く。2035年の乗用車新車販売100%電動化に備えてマージンの確保が必要なのだが、まだ上昇の兆しである。</p>	<p><b>旅行業</b></p> <p>☔️</p> <p>組合クーポン前年同月対比20%、全旅クーポンを加味して10%。年間総売り上げは前年対比27%にとどまった。</p>
<p><b>電気機械器具小売</b></p> <p>☔️</p> <p>全商品平均で前年比92%。白物家電88%。</p>	<p><b>一般土木建築工事</b></p> <p>☁️</p> <p>令和3年2月分の公共用生コン出荷量は、前月比79.5%、前年同月比96.3%。公共工事請負金額は前年同月比で129.1%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p><b>中古自動車小売</b></p> <p>☁️</p> <p>今回で6回の中古車フェアを2月5日~7日開催。前回同様400台の展示車両を揃えての開催だったが、前回と比較すると来場者数は変わらないが、成約台数は微減、軽自動車の販売が目立つ結果となった。</p>	<p><b>電気工事</b></p> <p>☁️</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線の工事は、前年同月比103.2%とほぼ同様となった。</p>
<p><b>商店街(安芸市)</b></p> <p>☔️</p> <p>2月に阪神タイガースのキャンプが行われたが、今年は新型コロナの影響で無観客にて実施。例年、県外から沢山の人が訪れていたが、人の流れがなく寂しいキャンプとなった。今後引き続き、需要の減少が心配される。</p>	<p><b>一般貨物自動車運送</b></p> <p>☔️</p> <p>燃料価格が上昇し続けており、3月も値上げの予想で年度末を目前に不安材料となっている。物量も昨年度同時期より減少、厳しい状態が続いている。経済活動の鈍化による物量の減少と経営悪化が懸念される。</p>
<p><b>商店街(高知市)</b></p> <p>☔️</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比86.8%、台数:前年比85.9%。2月後半になって土日の来街者がやや持ち直したように思われる。穏やかな気候に合わせて感染者が減少することに期待したい。</p>	<p><b>タクシー</b></p> <p>☔️</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:67.8%、輸送回数:68.9%。実働率は45.9%。運転者不足と雇用調整助成金により運転者の労働意欲が減退したのでは?</p>

## 挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動

